



平成 24 年 12 月 18 日

各 位

会社名 三井製糖株式会社
代表者 代表取締役社長 飯田雅明
(コード番号 2109 東証大証第1部)
問合せ先 業務本部 津田琢哉
経営企画部長
(TEL. 03-3663-3111)

タイ製糖会社コンブリ社への資本参画に関するお知らせ

三井製糖株式会社(本社:東京都中央区、社長:飯田雅明、以下「三井製糖」と)と三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:飯島彰己、以下「三井物産」と)は、タイで製糖・発電事業を営む Khonburi Sugar Public Company Limited(以下「コンブリ社」)が実施する第三者割当増資の引受け及び新株発行予約権の取得に合意し、関連契約(以下「本契約」)を締結しました。本契約により三井製糖は 3 億 8,000 万タイバーツ(約 10 億円)、三井物産は 7 億 7,000 万タイバーツ(約 19 億 9,000 万円)を出資し、コンブリ社株式の 5.6%、11.1%をそれぞれ保有する予定です(註1)。

コンブリ社はタイ東北部ナコンラチャシマ県に製造拠点を置き、サトウキビ 250~300 万トンから年間 25~30 万トンの砂糖を製造し、高品質の砂糖製品をタイ国内の大手食品・飲料メーカー等に供給すると同時に、近隣諸国を中心に輸出しています。また、サトウキビの搾り滓(バガス)を燃料として発電を行い自社工場で必要なエネルギーを得ると共に、余剰電力を電力公社に販売し、地域のエネルギー自給にも貢献しています。

本契約締結と同時に、三井製糖、三井物産、コンブリ社の 3 社は戦略提携契約を締結しました。三井製糖と三井物産はタイの有力製糖会社 The Kumphawapi Sugar Co., Ltd.(クムパワピー社)と Kaset Phol Sugar Ltd.(カセットボン社)の主要株主として、これまで約 50 年にわたりタイでの製糖事業に関わってきました。同事業を通じて培った経験とノウハウを活かし、三井製糖の技術を用いた高品質な精製糖の製造や、三井物産のネットワークによる販売協力などを通じてコンブリ社の成長に貢献し、規模の拡大と強い製糖企業グループの形成を目指します。

世界の砂糖需要は、新興国の経済成長と人口増加による拡大が見込まれる一方、輸出余力のある国はブラジル、タイ、豪州等に限定されています。その中でもタイは世界第 2 位の砂糖輸出国であり、大消費地アジアの中にあるという地理的優位性もあり、砂糖のグローバルトレードの最重要拠点として今後の高成長が期待されています。今回の出資・戦略提携により、三井製糖と三井物産は、砂糖事業海外展開のさらなる強化を図っていきます。

コンブリ社 概要

名称	Khonburi Sugar Public Company Limited. タイ証券取引所に上場 (コンブリ シュガー パブリック カンパニー リミテッド)
所在国(登記上)	タイ バンコク市
設立年	1965 年
代表者	Chairman / Mr.Suthep Wongvorazathe (ステープ ウォンヴォーラッセ会長) Managing Director / Mr. Takon Tawintermsup (タコン タウインタームサップ社長)
出資構成 (三井製糖及び三井物産出資後)	創業者一族 52.1%、三井物産 11.1%、三井製糖 5.6%、他 (註 1)
事業内容	砂糖の製造、販売

註1: 「新株予約権が行使された場合」

以上